

# 暖房器具火災に注意しましょう！

- ◆ 燃えやすい物の近くで使用しない。洗濯物や物が落ちそうな場所では使用しない。
- ◆ 必ず火を消してから給油を行う。
- ◆ 灯油とガソリンを間違えないように注意する。
- ◆ 灯油カートリッジのフタがきちんと閉まっていることを確認してから、ストーブにセットする。
- ◆ その場から離れるときは、必ず火を消す。
- ◆ 定期的に掃除を行い、異常燃焼が起きないようにする。



# 薪ストーブの火災に注意しましょう！

- ・ 不燃性のたき殻受けを設置する。
- ・ たき殻や灰の処理を正しく行い、蓋のある不燃性の取灰入れに処理する。
- ・ 煙突内部の清掃を定期的にする。  
煙突の清掃を怠るとタールが溜まり、煙突内部で火災が起こることがあります。  
このとき、煙突内部の温度は1,000℃を超えることもあり、煙突周囲に可燃物があると燃焼するおそれがあります。

